

目 次

| | | |
|---------------------------------------|------------------------------|-----|
| 堂平観測所の発足 | 広瀬秀雄, 古畑正秋, 下保茂, 富田弘一郎 | 頁 4 |
| 本会だより——大塚奨学金 | | 8 |
| 月報アルバム——斉藤氏滞米フィルムより, 堂平観測所の発足 | | 9 |
| 天象欄——1月の天文暦, 火星が近づく | | 12 |
| 月面の測地学 | 関 口 直 甫 | 13 |
| Air Mail (10)——アメリカ南西部の天文台 | 斉 藤 国 治 | 16 |
| 雑報——黒点暗部磁場の方向 | | 19 |
| 新刊紹介——下保茂著; 天文台と望遠鏡 | 畑 中 武 夫 | 19 |
| Sandage; The Hubble Atlas of Galaxies | 石 田 蕙 一 | 19 |
| 乱流——堂平観測所のことをはじめ, 人の動き | | 20 |

— 表 紙 写 真 —

堂平観測所のドーム——埼玉県の堂平山に新設された東京天文台の観測所のドームで、
91 cm 反射望遠鏡を入れる。(昭和 32 年 11 月下旬撮影)

◇訂正——11月号および12月号のこの頁の恒星社の広告中、見出しの**新天学講座**は**新天文学講座**の誤りでした。訂正とおわびを申し上げます。

日本の観測者

気象庁 根本順吉編 B6 ¥380 円 80

仕事は大へん地味であるが、科学や技術の現場で着実な仕事を続けている人達、科学や技術の裾野にあって、それらの進歩に大きな支えとなっている人達、これらの人々はどんな人達で、何を考えておられるだろうか。この書は十一名の地球物理学関係の仕事にたずさわっている人達の貴重な話題を提供してくれる。

内容目次

- 富士山頂で観測を続ける人.....藤村 郁雄
- 地図と共に歩んだ五十年.....高木 菊三郎
- 天文と気象の間をつなぐ人.....須 川 力
- 昭和新山を見まもる人々.....壮警村役場の人々
- 電波で人工衛星を追う人.....中田 美明
- 流星観測を続けて四十年.....小楨孝二郎
- 海に生きる実学者.....佐藤 孫七
- 宇宙線の観測を続ける人.....宮崎友喜雄
- 汚染と取り組む人々.....大阪市立衛生研究所
- 砂丘に火山灰土を採る人.....大西 正巳
- 雪害と取り組む人々.....荘田幹夫・古川 巖

山の気象 第1集 山の気象研究会 ¥450

東京都新宿区三栄町8 恒 星 社
振替東京 59600



天 文 博 物 館

五島プラネタリウム

東京・渋谷・東急文化会館8階

電話 青山 (401) 7131, 7509

☆ 1 月 宇宙旅行 (火星も近づく)

☆ 2 月 大きい星, 小さい星

| 投影時間 | 第1回 | 第2回 | 第3回 | 第4回 | 第5回 | 第6回 | 第7回 |
|-------|--------------|-------|-------|------|------|------|------|
| 平 日 | 団体のみ 9.30 | 11.00 | 12.30 | 2.00 | 3.30 | 5.30 | 7.00 |
| 日曜・祭日 | 9.30 | 11.00 | 12.30 | 2.00 | 3.30 | 5.30 | 7.00 |

○11月~2月の間は平日7.00の回は中止します。

○休館日 毎週月曜日 (ただし5月と8月は無休館です。)

○料金 大人 100円・中人 70円・小人 50円

